授業科目名・形態	認知症ケア論Ⅱ　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	今野　修	実務経験の有無	有	開講期	2年前期
科目ナンバリング	W4-2037c				

【授業の主題】

認知症のある人の心身の機能が生活に及ぼす影響について理解し，さらに本人と家族が地域で自立した生活を継続するために必要とされる心理・社会的な支援についての基礎的な知識を学んでいきます。

【到達目標】

1) 認知症の人の生活及び家族や社会との関りへの影響を理解し，その人の特性を踏まえたアセスメント方法を理解できる。
2) 認知症の人の生活を地域で支えるサポート体制や，多職種連携・協働による支援方法を理解できる。
3) 認知症の人を支える家族の問題について理解し，家族の受容段階や介護力に応じた支援方法について理解できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　パーソンセンタードケア
第 2 回　認知症のアセスメントツール
第 3 回　認知症の人とのコミュニケーション（1）
第 4 回　認知症の人とのコミュニケーション（2）
第 5 回　認知症の人への日常生活支援（1）
第 6 回　認知症の人への日常生活支援（2）
第 7 回　認知症の人への日常生活支援（3）
第 8 回　認知症の転倒・転落予防対策
第 9 回　エンド・オブ・ライフ・ケアと意思表明支援
第 10 回　認知症の人へのホリスティック・ケア
第 11 回　暮らしを支えるケアと環境づくり
第 12 回　家族への支援と社会資源の活用方法
第 13 回　政策からみた認知症ケアと各国の政策
第 14 回　地域包括ケアシステム下における認知症ケアと多職種連携
第 15 回　まとめ

【授業実施方法】

基本は講義形式で行います。また，認知症の当事者および家族の視点を共有する目的で，デスカッションを取り入れた授業も展開していきます。

【事前・事後学習】

講義内容に応じて毎回 30 分以上の予習・復習を行ってください。

【主な関連する科目】

生活支援技術論Ⅰ・Ⅱ，医学概論，高齢者と健康

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座　認知症の理解　中央法規出版.

【参考文献】

公益社団法人日本看護協会　認知症ケアガイドブック　照林社.

【成績評価方法】

筆記試験 80%，課題レポート提出物 10%，演習への取り組み等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院や老人保健施設においての認知症看護の経験があります。その経験を生かして，医療職と連携して介護福祉士の認知症ケアにおいての専門性が発揮できるための様々な学びを一緒に行っていきたいと思います。

【学生へのメッセージ】

認知症をもつ人の本人主体の理念に基づいた認知症ケアを一緒に学んでいきましょう。また，認知症のある人への心地よいケアのあり方についても探究していきたいと思います。